

毎バッチ引換券

10月6日(日)の尼崎市
民まつりの下水道部のプ
ースに引換券を持ってきていただ
くと尼崎城デザインマンホール缶バッヂと
引き換えます。※数に限りがあります。

尼崎城デザインマンホールのオリジナ
ルキーホルダーを配布し
ます!
※数に限りがあります。
詳しくはHPへ



※イメージ図です

下水道だより 第10号 令和元(2019)年9月

あまがさきの 下水道



尼崎市下水道部 検索

TEL:06-6489-6551 FAX:06-6489-6559 ホームページ <http://amasui.org/>

? 知ってる? 尼崎市の 浸水対策


最近、集中豪雨の
ニュースが多いわね。
土砂崩れや浸水被害などの
映像がテレビで流れる度に
不安になるわね。
尼崎市では
どんな浸水対策を
行っているのかしら?

尼崎市は市内面積の約30%が海面よりも低くなっており、
大雨が降ったとき、地形的な状況から浸水する可能性が高
くなっています。そのため、浸水対策はとても重要です。
下の図に尼崎市の下水道部が行っている浸水対策を紹介
しています。それぞれの地域に合わせた浸水対策を行い、
尼崎市の浸水を人知れず防いでいます!

雨水貯留管について


大雨が降ったときに、土地が低い場所では、今ある下水道管では流しきれずに、雨水が道路にあふれてたまってしまふことがあります。
雨水貯留管は、下水道管では流しきれない雨水を一時的に取り込むことにより、浸水被害を軽減させる施設です。

現在は、武庫地区内の山手幹線および尼崎宝塚線の道路下深くに、約3kmの雨水貯留管の整備を計画しており、今後、施工基地の候補となりうる場所の周辺住民の方々に意見をうかがう予定としています。



ポンプ能力の強化

大雨が降ったとき、市内にある下水道のポンプ場や浄化センターから雨水をポンプを使って川や海へ排水します。近年、想定を超える大雨が局地的に降ることにより、浸水する可能性が高まっています。そこで、雨水ポンプを新しくする際には、その能力を大きくするなどの浸水対策に計画的に取り組んでいます。



最大3万円 の助成金あり!

**浸水対策にもなる
雨水貯留タンクを設置しませんか**

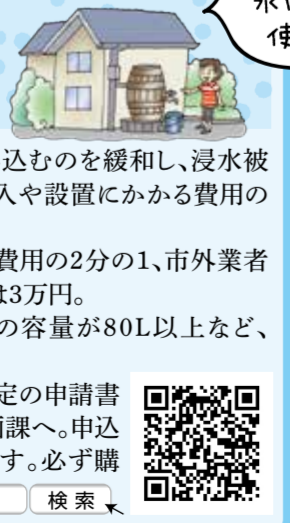
大量に降った雨水が、一気に下水道に流れ込むのを緩和し、浸水被害を軽減する効果がある雨水貯留タンクの購入や設置にかかる費用の一部助成を行っています。

助成額 市内業者から購入した場合は購入費用の2分の1、市外業者から購入した場合は3分の1。いずれも限度額は3万円。

対象 市内在住又は市内事業者。タンクの容量が80L以上など、他にも要件があります。

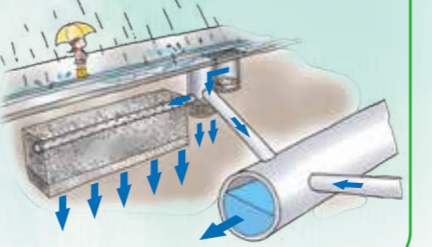
申込方法 令和2(2020)年1月31日までに、所定の申請書などを持って、上下水道庁舎5階下水道部計画課へ。申込書などは同課やホームページから入手できます。必ず購入前に申請してください。

尼崎 雨水タンク 検索




雨水浸透施設について

雨水浸透管や浸透ますは、それぞれの底部の穴の空いた筒から雨水を地下へ浸透させることができるもので、道路面から下水道管に流れ込む雨水の量を減らす目的で設置しています。アスファルトなどで舗装がされた道路は、雨水が地下に浸透しにくくなっていますが、雨水浸透管や浸透ますの設置により、雨水の一部を地下へ誘導しています。



この記事に関するお問い合わせは、下水道部 経営企画課 TEL.06-6489-6551

水道だより

ウォーターニュース

第84号 令和元(2019)年9月

あまがさき

尼崎市公営企業局 検索



水道・下水道に関するお問い合わせ先: 上下水道電話受付センター TEL:06-6375-0002 FAX:06-6375-0124 ホームページ <http://amasui.org/> 発行: 尼崎市公営企業局

12月1日 から

水道料金 下水道使用料 が 新しい消費税率でのお支払いになります


今年10月から消費税率が改定されます。尼崎市の水道料金・下水道使用料につきましては、12月1日(日)以降のお支払い分から、消費税率10%で計算した金額となります。また、給水装置の新設・改造などの工事費と分担金に掛かる消費税率を10月から10%に改定します。ご理解とご協力をよろしくお願いたします。改定後の水道料金等については、下表を参考にしてください。

水道料金・下水道使用料 早見表(使用水量10m³ごと、消費税込) 1戸・2か月、口径20mm以下の場合

使用水量(m ³)	水道料金	下水道使用料	お支払い合計
	12月1日から	12月1日から	12月1日から
10	1,674円→ 1,705円	1,250円→ 1,273円	2,924円→ 2,978円
20	2,160円→ 2,200円	1,315円→ 1,339円	3,475円→ 3,539円
30	3,585円→ 3,652円	2,341円→ 2,384円	5,926円→ 6,036円
40	5,011円→ 5,104円	3,367円→ 3,429円	8,378円→ 8,533円
50	6,976円→ 7,106円	4,587円→ 4,672円	11,563円→ 11,778円
60	8,942円→ 9,108円	5,808円→ 5,915円	14,750円→ 15,023円

水道料金等のお支払いには便利な口座振替・クレジットカード払いをご利用ください。

※水道料金等のお支払いに口座振替をご利用いただいた場合、ご請求金額から1回につき55円値引きします(今年11月振替分までは54円値引き)。



この記事に関するお問い合わせは、お客さまサービス課 TEL.06-6489-7406

神崎浄水場開放イベントを開催します!

10月6日(日)に神崎浄水場開放イベントを開催します。普段は入ることができない浄水場施設の見学など、みなさまに楽しんでいただける内容を用意してお待ちしています。ぜひお越しください。

- ・浄水場見学スタンプラリー
- ・水の飲み比べ
- ・尼崎市水道工事業協同組合による水鉄砲作りワークショップ
- ・地域の方による屋台(軽食) 他



とき 10月6日(日) 10時~16時(小雨決行、荒天中止)
ところ 神崎浄水場 尼崎市次屋4丁目6-1(公共交通機関でご来場ください)

この記事に関するお問い合わせは、水道部 経営企画課 TEL.06-6489-7405

自然災害等に備えて、どのようなことに取り組んでいるの？教えてください！



水道・下水道の災害対策

近年、地震や台風、集中豪雨等の災害が立て続けに発生しています。これらの災害によって引き起こされる断水や浸水も、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼすおそれがあります。今回は、災害に対する尼崎市での取組のうち、水道・下水道に関するものを紹介します。



私たちがお答えします

Q 水道水や下水を運ぶ管の災害対策は？

A 水道 災害に強い配水管への取替工事を進めています

地震等の災害のときにも水道が使えるよう、災害に強い水道管に取り替える工事を進めています。取替工事は、基幹となる配水管と重要施設（基幹病院や透析実施医療機関、避難所など）につながる配水管の耐震化を優先的に実施しています。令和元（2019）年度末までに、市内の基幹管路の耐震化率を50%にすることを目指し、継続的に工事を進めています。



配水管取替工事の様子

下水道 古くなった下水道管のリニューアル工事を進めています

市内には下水道管が1,000km以上ありますが、古くなってきています。そのままにしておくと大きな地震で管が破損し、下水が浄化センターまで流れなくなるおそれがあります。そこで、古い管の内側に合成樹脂などの新しい管を作るリニューアル（更生）工事を進めています。これにより、管の寿命を延ばし、地震に強い管にすることができます。

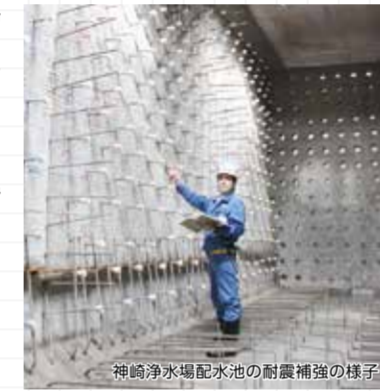


老朽化した下水管
リニューアル工事後の下水管

Q 水道や下水道の施設の災害対策は？

A 水道 災害に強い施設にするために耐震化を進めています

浄水処理した水道水を一時的にためておく配水池は、災害時には応急給水拠点としても活用されます。神崎浄水場の地下には配水池があり、災害に強い施設にするために耐震化を進めています。



神崎浄水場配水池の耐震補強の様子

下水道 ポンプ場や下水処理場の耐震化を進めています

ポンプ場や下水処理場などの下水道施設が被災した場合、汚水や雨水の処理ができず、汚水による衛生環境の悪化や排水制限、浸水といった被害が予測されます。そのため、下水道施設の耐震化は非常に重要です。また、下水道施設の一部は津波等一時避難場所として指定を受けており、避難できる場所の確保のためにも施設建物の耐震化を進めています。

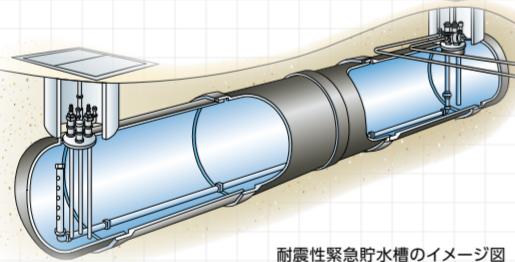


栗山中継ポンプ場に設置した耐震化装置

Q 災害が発生したときに役立つものは？

A 水道 災害時には耐震性緊急貯水槽からも飲料水を確保できます

耐震性緊急貯水槽は、災害時に飲料水を確保するタンクを兼ねた非常に大きな水道管です。災害時には遮断弁が自動的に作動し、貯水槽内に水道水が確保されます。この貯水槽1基で、約1万人に3日以上飲料水を提供することが可能です。市内では、常陽中学校・武庫南小学校・尼崎北小学校・大島小学校・防災センター・北部防災センター・潮江緑遊公園——の計7か所に設置しています。



耐震性緊急貯水槽のイメージ図

下水道 指定避難所へのマンホールトイレの設置を進めています

地震などの災害が起きると、断水や下水道管の破損により、トイレが急に使えなくなるおそれがあります。そこで、市内の指定避難所に災害時用のトイレの設置を計画的に進めています。このマンホールトイレとは、マンホールの上に簡易な便座やパネルをつけるだけで、トイレとして使えるものです。設置が簡単で災害時でも素早く利用ができ、下水道管に直接放流ができるなど、衛生的な施設です。



Q 災害に備えてどのような訓練をしているの？

A 水道 市の防災訓練に参加しました

8月30日（金）、尼崎市防災総合訓練に尼崎市災害対策本部公営企業部として参加し、水道施設復旧訓練を実施しました。水道管の破裂により周辺地域が断水した想定のもと、水道管路施設班が配水管の復旧に、また尼崎市水道工事業協同組合が給水管の復旧に当たりました。その他、広報車による巡回広報、高圧給水車や仮設給水栓からの応急給水も行いました。さらに、水槽内の濁った水を浄水装置により浄化し、水質検査を経て応急給水に用いる訓練も実施しました。



防災訓練の様子

下水道 BCP実地訓練を実施しました

業務継続計画（Business Continuity Plan）とは、大きな災害などが発生し、業務機能が停止・停滞した際に、いち早くその機能を回復し、下水道機能を維持するための行動計画です。下水道部では、作成済の下水道BCPがきちんと機能するかを確認するために毎年、職員研修を行っています。6月20日（木）に実地訓練を行い、簡易ポンプを使って浸水した場所の水を河川へ排水する作業や、マンホールふたを開閉して下水道の状況を把握する作業に取り組みました。



簡易ポンプによる排水訓練の様子

もしものときに備えて水を備蓄しましょう

- 私たちの生活には水が必要不可欠です。日頃から1人1日3Lの飲料水を3日分は備蓄しましょう。
- 清潔な保存容器を準備します。
 - 容器内に空気が残らないよう、水道水で容器を満たし、ふたをしっかりと閉めます。湯冷ましや浄水器を通した水は、消毒のための塩素が含まれておらず、備蓄に向きません。必ずジャロから出る水道水をそのまま容器に入れてください。
 - 直射日光が当たらない、風通しの良い室内に保管します。災害時に備蓄した水が取り出せない事態を防ぐため、複数の場所に分散させるなど工夫しましょう。保管の目安は夏場で3日間・冬場で7日間です。
 - 保管期間が過ぎたものは洗濯や水やりなどに使って、新しい水道水に入れ替えましょう。



マンション・集合住宅にお住まいの方へ散水栓を知っていますか？

マンション・集合住宅など、電動ポンプを利用している建物の場合、停電するとポンプが作動せず、水道水をお使いいただけなくなることがあります。これらの建物にはポンプを経由しないジャロ（散水栓）が設けられていて、停電時・ポンプ故障時でも水道水をお使いいただけます。平常時から、散水栓の位置の把握・使用方法の確認など、管理会社等との情報共有を行い、災害による停電等に備えておきましょう。



井戸水も下水道に

流していませんか？

井戸水を使用し、下水道に流す場合は、届出が必要で、下水道使用料が発生します。詳しくはお客さまサービス課にお問い合わせください。



お客さまサービス課 下水道使用料担当

☎06-6489-6555

水道・下水道に関する各種お問い合わせは「上下水道電話受付センター」へ

☎06-6375-0002

土・日・祝日を含む 午前8時45分～午後5時30分まで受け付けています。（12月29日～1月3日を除く）

- 水道の使用開始・中止のお申込み
- 名義変更のお届け
- 水漏れ等の修繕のお申込み
- 口座振替・クレジットカード払いの手続きについて
- 道路のマンホールから汚水があふれている場合 など



FAX 06-6375-0124